

静岡縣近代史研究会

会報

2月
2026年10日
月刊第569号

< 2月例会レジュメ >

黒羽清隆先生の魅力紹介 研究者の人生を含む研究史を応用して好奇心を触発する 歴史教育実践の試み

池ヶ谷真仁

本会にも深く関わり、日本史研究、歴史教育にさまざまな関わり方で貢献してきた方である。黒羽先生の仕事については、鹿野政直さんが「「民衆」史と「庶民」史を架橋する—黒羽清隆氏のまなざし—」(『歴史評論』1988年5月 No. 457 歴史科学協議会編集 校倉書房)で紹介している。そこでは黒羽先生の仕事の魅力を「「研究」「教育」「運動」の三位一体性」としている。タイトル内容ともに、多彩な黒羽先生の魅力をうまくまとめているこの鹿野氏の文章に沿って、私なりにいくぶん具体的に黒羽先生の魅力を紹介してみたい。

あまりに早い晩年の黒羽先生の関心の一つが「研究者の人生を含む研究史を応用して好奇心を触発する歴史教育実践の試み」だった。この取り組みには前史がある。例えば、『改訂新版 日本の歴史 1』(編集:家永三郎 1987年 ほるぷ出版 旧版は1977年)。黒羽先生はこの一冊の編集委員の一人。注目すべきは「1章 原始社会」で、ここでは過去から順に歴史を書くことをしていない。縄文時代→弥生時代→旧石器時代と発見された順、研究進行の順に叙述され、その間にそこに関わった歴史学者達の研究視点や人生も紹介されていく。他の歴史書には見られない実に野心的な歴史叙述であろう。

そんな黒羽先生の発想をわかりやすく味わうことができるものに『大月書店版 まんが日本の歴史 1 大昔にせまる・原始』(1987年4月20日 第1刷発行 大月書店)がある。先生も編集委員の一人であった。日付は先生が亡くなる直前のもの。収録作品中の最初の第一話が「明石の嵐の明日」で、直良僧夫の伝記とともに日本における旧石器時代の存在が確認されていくドラマが描かれていく。黒羽先生は、このような研究者の人生を含む研究史の教材化が、児童、生徒、学生の歴史への好奇心を触発するにちがいないと発想されていた。

ただし、冷静に考えてみれば、一つの研究史、論争史といえどもそれを理解するにはたいへんな困難が伴う。それにそこに関わった研究者の人生を含み込み、その上さらに教育上のアレンジを施す。たいへんな労力、技、時間が費やされるだろう。こうした黒羽先生の仕事は、冒頭の鹿野氏の紹介に即すなら、歴史学と歴史教育を架橋する方法の提案であり、その実践の試みであった。そ

- 『2025 平和のための富士戦争展の記録』
「ジョー・オダネル写真展」、「再び沖縄を戦場にするのか」他
- 『岡山地方史研究』161（岡山地方史研究会）
除本理史・林美帆編著『「地域の価値」をつくる』合評会
書評『「地域の価値」をつくる』（西村慎太郎）、「困難な過去」をどう継承するか」（除本、林）他
- 『熊本近研会報』631（熊本近代史研究会）
「『北御門二郎戦中日記』を読む」（梅林誠爾）他
- 『 』636
「水俣病問題における歴史的課題」（蜂谷紀之）他
- 『 』641
「宮崎民蔵の思想と土地復権運動」（鈴木つむぎ）他
- 『 』644
「柳田國男と韓国併合」（弓掛浩）他
- 『 』645
「治安維持法 100 年と熊本」（小田憲郎）他

例会のお知らせ

<2月例会>

日時：2月21日（土）14:00～17:00

場所：Web 会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：本誌2ページをご覧ください。

内 容：黒羽清隆先生の魅力紹介 研究者の
人生を含む研究史を応用して好奇心
を触発する 歴史教育実践の試み

報告者：池ヶ谷真仁氏（本会会員）

<3月例会>

日時：3月14日（土）14:00～17:00

場所：Web 会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：3月会報に掲載します。

内 容：<卒論報告会>最年少の薩摩藩英国
留学生・長沢鼎に対する近代日本社
会の評価とその変遷—日本の文献
資料を中心に—

報告者：川崎寿美氏（鹿児島大学法文学部
4年生）

<会報に原稿をお寄せください>

会報原稿を募集しています。短いもので
も結構ですので、ぜひご寄稿ください。会
報原稿は、下記のアドレスにメールで送っ
てください。但し、掲載号については会報
編集担当者にお任せください。どうぞよろ
しくお願いいたします。

メールアドレス：cqh00053*nifty.ne.jp

(*は@に変えてください。

会報編集担当 川上)

静岡県近代史研究会会報 第569号（月刊）

2026年2月10日

非売品（非会員は印刷実費100円）

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386（直通）

年会費：4,500円（メール会員は3,500円）

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：

<https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/>